

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	事業所から
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10			2	・活動しているところを、コロナで実際に見たことがないので、分かりません。 ・中に入れないうえに分らない。	・広報紙「あおぞらクローバー」を活用し、活動室の様子が分かるよう発信していきます。また、感染状況にもよりますが、保育参観の再開も考えております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12					・今後も適切な配置だけでなく、支援技術の向上を怠りません。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11			1	・中に入れないうえに分らない。	・コロナ対策で大変ご不便をお掛けしております。毎月お届けしています広報紙「あおぞらクローバー」にて、室内の様子や装飾などお知らせしていきたいと思っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10			2		・広報紙「あおぞらクローバー」にて室内の様子などお知らせいたします。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画iiが作成されているか	12					・より良い計画書作成ができるよう、スキルアップに努めて参ります。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11			1		・発達支援、家族支援に力を入れておりますが、今後は、地域支援についても向上を目指します。特に災害時等は、地域の方々との繋がりが大切です。障がいのある子ども達が地域に根ざしていけるよう力を注ぎます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12					・毎朝ミーティングを行い、計画の確認、前回の利用の様子についての情報共有を実施しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	事業所から
適切な 支援の 提供	8	活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫されているか	12	1			<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、本当に色々な活動をさせてもらい、感謝しています。自宅ではできない体験や、友だちや大人との関りが出来ています。先生方の考える創作も、いつも感動しています。 ・楽しそうな内容で、いつも感謝しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもらしく思いきり遊べること、楽しめること、遊びの中から学ぶことを大切に、今後も工夫を凝らします。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナかで、そういった機会は難しいので仕方ないと思う。 ・利用回数が少ない為 ・コロナ前はあったが、今は分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園、幼稚園との交流会は毎年実施していました。コロナ禍、感染予防の観点から交流は控えていました。感染状況を見ながらにはなりますが、再開していきたいと考えています。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12					<ul style="list-style-type: none"> ・今後も丁寧な説明を心掛けます。ご不明な点はいつでも、お問合せください。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	11				1	<ul style="list-style-type: none"> ・より具体的に説明ができるよう知識と技術をアップします。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われているか	8	1			3	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、職員に向けペアトレ研修を実施しています。今後、保護者の方向けに実施できるよう仕組み作りを行います。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	12					<ul style="list-style-type: none"> ・毎日1日の様子を伝えて頂いているので、様子が分かりやすいです。 ・連絡ノート、出席ノートを活用し、その日の活動写真を添付することで、日々の状況が分かりやすいよう工夫しました。 ・ドキュメンテーションを用い、支援や発達について保護者様と共通理解を図ることができました。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	事業所から
適切な 支援の 提供	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10			2	・話をいつも聞いて頂けるので、助かります。	・定期的な面談だけでなく、ご相談はいつでもお受けできます。お声かけください。 ・電話や直接面談だけでなく、オンライン等も検討します。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	6		2	・コロナが広がっているので、仕方ないと思います。 ・コロナ禍の為、保護者会等ができない状況だと思っておりますので、仕方ないと感じています。 ・コロナの為、参加していない。	・医ケア児、重心児の親の会「おしゃべりクラブ」の活動を再開することができました。限られた方の参加にはなってしまいましたが、クラージュを卒業した児童の参加もあり、良い交流となりました。これからも、コロナ禍でもできる事を少しずつ進めていきたいと考えています。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12					・育児等での不安、その他お困りのことがありましたら、いつでもご相談ください。もちろん、個別の相談も随時可能ですので、気軽にお声かけください。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12					・視覚的に分かりやすいもの、実際の支援用品。動画、写真等を用い、情報伝達の工夫をしました。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12				・先生方がまめに連絡帳に写真を貼って下さったり、写真いっぱいのお便り、インスタ等で楽しそうな我が子を見つける度に幸せな気分になります。ありがとうございます。 ・毎回楽しみにしています。	・広報紙「あおぞらクローバー」に掲載しきれないほど、素敵な写真がたくさんあります。保護者の方と離れた場所で、子ども達がどのように過ごしているのか、今後も楽しく発信していきます。 ・広報紙、SNSについてもスキルアップを図っています。今後も楽しみにお待ちしております。
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	12						

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	事業所から
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12				・お便りが写真付きなので、訓練の様子をいつも見えています。子ども達を大切に守って頂き、ありがとうございます。	・いずれのマニュアルも完備されています。訓練の様子については、今後も広報紙等でお知らせいたします。ご不明な点は、いつでもお問合せください。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11			1		・年間を通し、机上や実際の訓練を実施しています。実施状況は、広報紙等でお知らせします。なお不明な点はいつでもお問合せください。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	12				<ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しそうに毎回しているの、居心地が良いのが分かります。 ・毎回楽しそうにニコニコして家を出るので、安心しています。『送迎員さん来たかな?』という、玄関の方にスタスタ向かって、くつを履こうと意欲的です。帰宅してからも満足そうにリラックスして過ごすことができています。 ・駐車場に着くと嬉しくて早く車から降りたがるほど、大好きな様です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好奇心や意欲の向上の為に、心から「楽しい」と思う環境が必要です。子ども達が心から安心し、自分らしさを表現できるよう今後も力を注ぎます。また、保護者の皆さまにも安心してお任せ頂けるよう、知識や技術の向上、支援の振り返りを継続します。
	23	事業所の支援に満足しているか	12				<ul style="list-style-type: none"> ・いつも色々なプログラムや行事で、私が通いたいぐらいです。これからもよろしくお願ひします。 ・いつも楽しみに通っています。ありがとうございます。 ・写真なども貼って下さったり、細かいサービスに感謝しています。みなさんとても良い方ばかりで、本当に通わせて良かったなと思っています。 ・楽しそうに活動している写真を見ると、とても安心します。いつもありがとうございます。 ・いつも楽しく刺激のある遊びを提供していただき、ありがとうございます。たくさんのお話を覚えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気と笑顔いっぱいに関わり続けます。また、保護者の方にも負けない位の大きな愛情を持って、大切なお子様方と関わらせて頂きます。これからも、どうぞよろしくお願ひします。

i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をやるのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活

iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されています。

iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

(保護者等の皆様へ)

○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。